

2010年4月25日

メッセージ概要

天声教会 1部礼拝 週報

〒231-0058 神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通り公園 I -201
TEL/FAX 045-326-6211

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

賛美	救いの岩
賛美・霊の祈り	None can Compare
使徒信条	会衆一同
交読文	44
祈り	
メッセージ	栄光の家系の女達 - タマル(マタイ1:1-6)
祈り	
賛美	あわれみあふる
主の祈り	会衆一同
祝福の祈り	メッセンジャー
報告	

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・奉仕者が与えられるように: 礼拝準備、賛美リード、奏楽

祝福の御言葉 自分にあてはめて祈りましょう

あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。
あなたがたは、以前は神の民ではなかったのに、今は神の民であり、以前はあわれみを受けない者であったのに、今はあわれみを受けた者です。(I ペテロ 2:9,10)
「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」(創世記1:28)

マタイ1章はキリストの王族の系図で始まるが、名を連ねている女性が4人いる。前回はルツを詳しく見たので、今回タマルについて見ていきたい。

創世記37章以降はヤコブの子ヨセフをメインに話が展開するが、タマルの物語は38章に唐突に挿入されている。しかも、普通の人間が読めば眉をひそめるような話である。神の摂理からすれば、タマルの物語は決して省く事はできないので、今回、人の行為の善悪は置いておき、永遠の王国を成就させる神の摂理の視点に立って見ていきたい。

ユダはカナン人の女シュアと結婚し、3人の息子を生んだ。長子エルの子としてタマルを迎えるが、彼は主を怒らせていたので、彼は死んだ。次男オナンは子を生まうとしない事によって主を怒らせたので、彼も死んだ。(38:6~10) ユダは3男シェラが成人するまでやもめのままでいるようにタマルに指示するが、シェラも兄達のように死ぬといけなそうと思ひ、彼が成人しても結婚させないままでいた。シェラも主を怒らせるような要素があったのかもしれない。

あたかも呪われた家族のようであるが、栄光の家系において「生めよ、増えよ」という祝福の命令に逆らうのは罪である。タマルは二人の夫を亡くす経験を通して、神を恐れる事、ユダの獅子たる家を絶やしてはならない事の大切さを学んでいたようにも見える。

何とかして子を産まなくては、という一心で、彼女はやもめの服を脱いで遊女の格好をしてユダの前に現れ、ユダはそれと知らずにタマルのところに入り、タマルはみごもる。3ヵ月後、タマルが売春をして身ごもった事がユダに知れ、ユダは彼女を焼き殺すように命じるが、彼女はしるしとして受け取っていたユダの印形とひもと杖を示し、ユダ自身によって子を宿した事を訴えた。

ユダは大切にすべき印形とひもと杖を見て、遊女の報酬のしるしとしてそれらを一時的に手放した事、シェラを失う事を恐れて彼女にシェラを与えなかった事、栄光の家系を生み出す事を怠っていた事を悔い、「あの女は私よりも正しい」(26)と言った。ユダの目から見ればタマルこそ死に値する罪があるとはじめ思ったが、自分達の「子を生まうとしない」事こそ罪であった事を知るのである。

結局キリストの栄光の系図を継いだのは、カナン人の女による三人の子のいずれかからではなく、ユダ自身とタマルとによって生まれた双子からであり、その双子のうちの本来弟になるはずだったペレツからである。ペレツも本来兄になるはずだったゼラフを出し抜いたからこそ、栄光の家系に加えられた。キリストの購いによって選ばれた種族とされ、王である祭司とされ、聖なる国民とされ、神の所有とされた私達は、大いに増えるべきである。